

1. 科目名 (単位数)	更生保護 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP4301 SSMP4101 PSMP4401
2. 授業担当教員	濱島 幸彦	5. 開講学期	春期
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、途中確認テスト・小テストの併用、 期末に試験を行う。		
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	犯罪や非行をした人の立ち直りを図り、再び犯罪や非行を起こさせないようにするには、その素質、環境を考慮しつつ、その人に必要な各種の支援、福祉という自立支援が必要である。これらの支援は、警察、検察、裁判、矯正の各段階で行われているが、本科目では、この内の社会の中での働きかけ(処遇)を中心とする更生保護制度について、その概要、担い手、関係機関・団体との連携、また、心神喪失等の状態で重大な犯罪を行った人の社会復帰の促進を目的とする医療観察制度の概要、さらには、更生保護制度の運用の実際と今後の展望等について学習する。		
8. 学習目標	1 福祉との関連において必要とされる更生保護制度の基礎的知識について理解し、説明することができるようになる。 2 更生保護の組織を中心に、刑事司法・少年司法分野で犯罪前歴者等の支援活動に関与する組織、団体及び専門職について理解し、説明することができるようになる。 3 更生保護制度における関係機関・団体との連携のあり方について理解し、説明することができるようになる。 4 保護観察所が担う新たな役割として、福祉機関・団体などとの密接な連携の下に実施される被害者支援や医療観察制度について理解し、説明することができるようになる。 5 更生保護の運用の実際と今後の展望について考察し、自分の言葉で表明することができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	中間レポート「(公判を傍聴して) 刑事司法手続きについて記述せよ」1,000字程度で第12回の講義時に提出する。 期末レポート「日本の更生保護制度の課題と対策について記述せよ」2,000字程度で最終講義時に提出する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】松本 勝編『更生保護入門 第5版』成文堂、2019。 【参考書】清水義憲、若穂井透 編著『更生保護』ミネルヴァ書房。 藤本哲也、生島浩、竜野文理 編著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 総合点の20% 2 期末試験 総合点の40% 3 課題レポート 総合点の20% 4 日常の学習状況 総合点の20%		
12. 受講生への メッセージ	1 日頃から新聞・テレビなどのマスメディアに関心をよせ、社会事象である犯罪や非行問題について考える習慣を身につけてほしい。 2 全員で授業に集中し、積極的に発言してより充実した授業内容にして、レポート作成により学んだことを自分のものにしていく方向で取り組んでいきたい。 3 可能であれば、裁判所において刑事事件の公判傍聴を行う予定である。 4 各講義の中で、社会福祉士国家試験過去問題(更生保護関係)にも取り組む。		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(講義概要の説明) 更生保護制度の概要Ⅰ 刑事司法の中の更生保護	事前学習	テキストの「更生保護の歴史と意義」、「刑事司法手続きの概要」を精読する。
		事後学習	刑事司法のチャート図の理解を深める。
第2回	更生保護制度の概要Ⅱ 仮釈放	事前学習	テキストの「仮釈放等の制度」を精読する。
		事後学習	どのような場合に仮釈放が許されるかをノートにまとめる。
第3回	更生保護制度の概要Ⅲ 保護観察	事前学習	テキストの「保護観察概説」を精読する。
		事後学習	講義での保護観察の概要をノートにまとめる(特に種類と期間)。
第4回	更生保護制度の概要Ⅳ 生活環境の調整、更生緊急保護	事前学習	テキストの「生活環境の調整」、「更生緊急保護」を精読する。
		事後学習	更生緊急保護はどのような場合に行われるのかをノートにまとめる。
第5回	更生保護制度の概要Ⅴ 更生保護における犯罪被害者等施策	事前学習	テキストの「犯罪被害者等支援活動」を精読する。
		事後学習	犯罪被害者対策の概要をノートにまとめる。
第6回	更生保護制度の概要Ⅵ 恩赦、犯罪予防活動	事前学習	テキストの「恩赦」、「犯罪予防」を精読する。
		事後学習	自分の居住する地域での社会を明るくする運動の行事情報を収集する。

第7回	更生保護制度の担い手Ⅰ 保護観察官・保護司	事前学習	テキストの「更生保護の機関」を精読する。
		事後学習	現在の保護観察の処遇方法の特色についてノートにまとめる。
第8回	更生保護制度の担い手Ⅱ 更生保護施設、民間協力者	事前学習	テキストの「更生保護事業」を精読する。
		事後学習	更生保護施設の問題点についてノートにまとめる。
第9回	更生保護制度における関係機関・団体との連携Ⅰ 裁判所、検察庁とのかかわり	事前学習	第1回で示したチャート図から裁判所・検察庁・更生保護等の関係機関の役割を確認する。
		事後学習	更生保護での処遇効果を高めるための方策についてノートにまとめる。
第10回	更生保護制度における関係機関・団体との連携Ⅱ 矯正施設、公共職業安定所、福祉事務所とのかかわり	事前学習	テキストの「社会内処遇における多機関連携」を精読する。
		事後学習	更生保護での処遇効果を高めるための方策についてノートにまとめる。
第11回	公判の傍聴～刑事司法手続きを理解する	事前学習	事前に配布する「刑事司法手続き」を精読する。
		事後学習	中間レポートとして、公判を傍聴しての刑事司法手続きをまとめる。
第12回	医療観察制度の概要 医療観察法に基づく処遇制度の創設、生活環境の調査、生活環境の調整	事前学習	テキストの「医療観察制度の概要」を精読する。
		事後学習	医療観察制度の意義についてノートにまとめる。
第13回	更生保護の実際と今後の展望Ⅰ 保護観察官の業務の実際、社会復帰調整官の業務の実際	事前学習	社会福祉士・精神保健福祉士と更生保護の連携例を検討する。
		事後学習	保護観察官・社会復帰調整官の機能の違いをノートにまとめる。
第14回	更生保護の実際と今後の展望Ⅱ 更生保護の今後の展望	事前学習	自分の周りの更生保護活動の事例について情報を収集する。
		事後学習	更生保護活動を効果的に展開するための方策について考える。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの講義での疑問点等を抽出する。
		事後学習	更生保護へ関心を持ち続けるための工夫をまとめる。